

ALBIT®

ALL BASICS IN TECHNOLOGY OF SOUND

BASS PRE-AMP A1BP TYPE II

取扱説明書

この度は、アルビット製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ALBITの代表作B-200・A1BPのサウンドポリシーを限りなく引き継いだA1BP TYPE II。
オリジナル4バンドアクティブ型トーンコントロール及び、NOTCHコントロールの採用や、
バランスアウト等の搭載で、幅広いジャンルで太く音像のクリアなプロフェッショナルサ
ウンドを再現し、その性能は小型ながら高級機器に匹敵する、コンパクトなプリアンプの
誕生です。



【製品仕様】

電源: AC9V (専用アダプター付属)
コントロール: VOLUME・NOTCH・TREBLE・BASS・H.MID・
L.MID・SEND・MASTER/RETURN
インジケーター: MUTE (RED)・POWER (BLUE)
端子: INPUT・TUNER・SEND・RETURN・OUTPUT・BALANCE
・HEADPHONE・AC.ADP. JACK・AUX IN
入力インピーダンス: 470KΩ
出力インピーダンス: UNBALANCE OUT=60Ω
BALANCE OUT=100Ω
標準出力電圧: +4 dbm
外形寸法: 150mm (W) × 106mm (D) × 61mm (H)
重量: 580 g
付属品: AC/AC専用アダプター×1・取扱説明書・保証書
※規格及び外観は改良の為、予告なく変更する事があります。

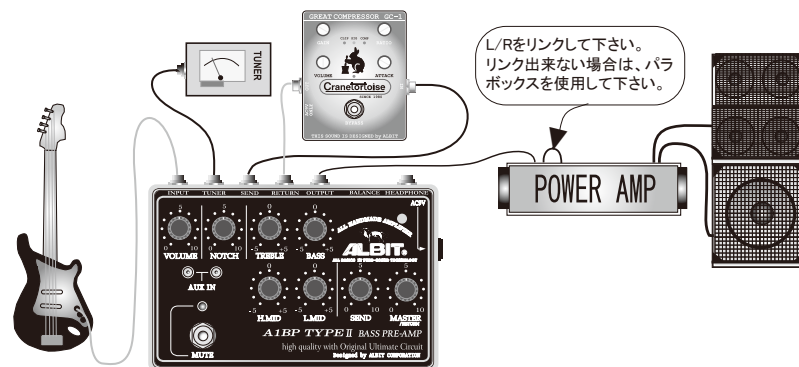
【各部機能】

INPUT-----楽器を接続するハイインピーダンスの入力端子で、アクティブ・パッシブのどちらでも接続可能です。
TUNER-----チューニングメーターを接続する端子です。
SEND JACK---エフェクターの入投入到に接続します。
RETURN JACK-エフェクトループのリターンジャックで、エフェクターのアウトプットより接続します。
OUTPUT-----出力ジャックです。
BALANCE-----ローインピーダンスのバランス出力で、主にミキサー送り等に使用します。
HEADPHONE---インピーダンスが30Ω以上のヘッドフォンまたは、フォーンプラグによるバランスアウトとしても使用出来ます。
※このヘッドフォン端子は、ラインアウトの出力を代用している為、ヘッドフォンのL/Rの位相が逆になっています。
ご了承お願いいたします。
AC9V-----必ず付属の専用アダプターを使用して下さい。他のアダプターを使用すると破損します。専用アダプターを接続
すると、青いLEDが点灯します。
VOLUME-----プリアンプのヘッドアンプ部分 (PRE-VOLUME) のボリュームで、音量を調整します。
NOTCH-----全体の特性から、中域のみをカットするコントロールで、右に回すほど、中域がカットされます。スラップ時、特に
威力を発揮します。
TREBLE-----高音域を調整するコントロールで、センターでフラットになり右でブーストし、左でカットします。
BASS-----低音域を調整するコントロールで、センターでフラットになり右でブーストし、左でカットします。
H.MID-----中高音域を調整するコントロールで、センターでフラットになり右でブーストし、左でカットします。
L.MID-----中低音域を調整するコントロールで、センターでフラットになり右でブーストし、左でカットします。

SEND-----接続されたエフェクターに信号を送り出すコントロールで、エフェクターが歪む直前まで上げて下さい。
MASTER/RETURN-全体の音量をコントロールするツマミで、各々セットアップされたレベルを変える事なく、音量を調整します。
また、SEND/RETURNにエフェクターを接続した場合は、MASTERを兼ねたRETURNコントロールになります。
MUTE-----チューニング時など、音を消したい時に使用します。MUTE時は、スイッチ上部の赤いLEDが点灯します。
AUX IN-----ヘッドフォンステレオのヘッドフォン出力端子を接続する事によって、音楽ソースによる夜間練習も可能
です。尚、このヘッドフォン出力は、モノラルで再生し、ステレオにはなりません。ヘッドフォンステレオの音
量調整は、ヘッドフォンステレオ側で行ってください。この入力に対する、A1BP TYPE IIの機能するコント
ロールは、MUTEスイッチのみです。

【使用例】

SEND・RETURNにエフェクターを接続した基本的な使用例です。下のイラストは、エフェクターをCranetortoiseのGC-1を使用し、
TUNERも接続しております。A1BP TYPE IIのOUTPUTより、POWER AMPのINPUTに接続していただき、POWER AMPのSP OUT
より、エンクロージャーへ接続してください。



ヘッドフォンステレオを使用する場合や、ミキサーを使用する場合、ヘッドフォンを接続する場合の接続位置は、下
記の図を参照して下さい。



※PRE-AMPとして使用する場合、SENDからBASS AMP側のPOWER AMP INに接続して使用方法も
あります。但し、その場合は、MASTER・RETURN・MUTEは効かなくなりますので、SENDのコントロールがMAS
TER VOLとして機能します。

【お問い合わせ先】

- ALBIT・Cranetortoise製品全般及び修理に関するお問い合わせ先
TEL:048-928-1637 FAX:048-922-5742
- ALBIT・Cranetortoise製品全般の修理送り先
〒340-0035
埼玉県草加市西町1382-3 アルビットコーポレーション
- メールのお問い合わせ先 info@albit.jp
- 最新情報はホームページにて http://www.albit.jp

Cranetortoise
SINCE 1980

ALBIT®
ALL BASICS IN TECHNOLOGY OF SOUND